



第5回

『看護研究・症例発表会』

2013.11.16(土) リファレンス駅東ビル



アップルハート訪問看護ステーション糟屋

発表題目

『摂食・嚥下アプローチと母の思いについて』

～家族との関わりを通じて学んだこと～

発表者：吉里 久美子(作業療法士)



アップルハート訪問看護ステーション福岡西

発表題目

『スタッフ間の連携向上』

発表者：水野 敦子(看護師)



アップルハート訪問看護ステーション大牟田

発表題目

『訪問看護におけるインシデント・アクシデントの予防』

～「ヒヤリ・ハット」に対するスタッフの意識付け～

発表者：松永 美紀(看護師)



アップルハート訪問看護ステーション小倉南

発表題目

『アンケート調査から見る現状と課題』

～働きやすい職場づくりとチームとしての第一歩～

発表者：大塚 いつみ(理学療法士)



発表者
松永看護師とスタッフの皆さん
本当におめでとうございます。



11月16日 リファレンス駅東ビル(福岡市)にて

アップルハート訪問看護事業

第5回『看護研究・症例発表会』が開催されました。

例年、全事業所(12拠点)から1症例ずつの発表を4症例に絞り、より濃密な研究・症例発表会となりました。

この中から参加者56名の投票によって

アップルハート訪問看護ステーション大牟田が

最優秀訪問看護ステーションに選ばれました。

訪問看護ステーション大牟田は、3月に開催予定の弊社全事業合同の研究・症例発表会の代表として再び症例を披露して頂きます。